BUFFALO

ご使用の前に必ずお読みください ～WLA-S11G～

本製品をご使用いただく前の注意事項および取り扱い方法について説明しています。本書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

1 パッケージの内容

パッケージには、次の物が梱包されています。もし、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

・AirStation（WLA-S11G）.................. 1台
・ACアダプタ............................. 1個
・AirNavigator CD.......................... 1枚
・ご使用の前に必ずお読みください
　～WLA-S11G～（本紙).................. 1枚
・無線LANスタートガイド.................. 1冊
・ネットワーク活用ガイド.................. 1冊
・吸着シート.............................. 1枚
　　AirStationを設置したときに安定しない場合は、
　　このシートをAirStationの底面に貼り付けて、
　　AirStationを固定してください。
・UTPストレートケーブル3m（カテゴリ5）.... 1本
・ユーザー登録はがき・保証書.............. 1枚

※ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。
　また、切り離した保証書は、大切に保管してください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

2 必要な動作環境

■本製品の設定には、以下のいずれかの環境が必要です。

OS：
・WindowsXP/Me/98/95/2000/NT4.0

ブラウザ：
InternetExplorer4.0以降　または　NetscapeNavigator4.0以降

3 無線LANに接続する前に

AirStationの設定時に下記の情報が必要です。あらかじめ準備しておいてください。
・有線LANのネットワーク設定（各パソコンのIPアドレスの設定、DHCPサーバが存在するかどうか※）
　※DHCPサーバについては、「ネットワーク活用ガイド」の「第３章　ネットワーク用語解説」を参照してください。

4 ネットワークの構築方法

AirStationには、次の使い方があります。

■有線LAN-無線LAN間で通信をおこなう

DHCPサーバのないネットワーク環境で初めて設定する場合は、AirStationをネットワークに接続してから2分程度、検索しても見つからないことがあります。その場合には、2分以上時間をおいて再度検索をしてください。

⑤ 各部の名称とはたらき

前面パネル

背面パネル

⑥ 安全のために

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。お読みになった後は、必ずお手元に置き、常に参照できるようにしてください。なお、本書には、弊社製品だけでなく弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。また、製品のマニュアルと重複する内容も含まれています。

パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している警告表示の意味

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

使用している絵記号の意味

△	△は、警告、注意を促す記号です。△ の中や近くに、具体的な警告内容が描かれています。（例：感電注意）
⃠	⃠は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。⃠の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。●の中や近くに、具体的な指示内容が描かれています。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。火災になったり、感電する恐れがあります。

- ●設置時に、電源ケーブルを壁やラック（柵）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- ●重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- ●熱器具に近付けたり、過熱したりしないでください。
- ●電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ●極端に折り曲げないでください。
- ●電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

分解禁止

本製品の分解や改造はしないでください。火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、ＡＣコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにACアダプタを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

AC100V（50/60Hz）以外のＡＣコンセントには、絶対にプラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制

ACアダプタは、ＡＣコンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

液体や異物などが内部に入ったら、ＡＣコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

けがをする危険があります。

注意

禁止

電源ケーブルがＡＣコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。

感電の原因となります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。

- ●強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
- ●静電気が発生するところ（故障の原因となります）
- ●震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
- ●平らでないところ（転倒したり、落下して、けがの原因となります）
- ●直射日光が当るところ（故障や変形の原因となります）
- ●火気の周辺、または熱気のこもるところ（故障や変形の原因となります）
- ●漏電の危険があるところ（故障や感電の原因となります）
- ●漏水の危険があるところ（故障や感電の原因となります）

電波に関する注意

- ● 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- ● 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）
  ※弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G）、他社製の無線プリンタバッファなど2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
- ● 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  ･本製品を分解/改造すること
  ･本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- ● 本製品の使用する無線チャンネルが出荷時設定以外の場合は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  ･産業・科学・医療用機器
  ･工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  ①構内無線局（免許を要する無線局）　②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- ● 本製品の無線チャンネルを出荷時設定以外に設定して使用する場合は、左記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

2002年4月24日　第2版　発行　株式会社メルコ